

犬養毅の書「^な為^ずさ弗^{なん}んば、^{なん}胡^なぞ成らん」



これは、校長室にある犬養毅の書です。犬養は、木堂と号し、岡山市出身の政治家・第29代内閣総理大臣で、「憲政の神様」と呼ばれました。五・一五事件(1932年)で凶弾に倒れながらも「話せばわかる」と青年将校を諭しました。この書を揮毫した大正2年は、尾崎行雄らと大正デモクラシーの端緒となる第一次護憲運動に力を入れていました。

この言葉は、「何事も行動を起こさなければ成功しない。」という意味の書経からの引用です。グッドビヘイビア(よい行動)カードでポジティブな行動を増やす活動を推進している本校にふさわしい犬養毅の言葉であると思います。